

こども・家庭応援計画（どんぐりプラン）に関する アンケートのご協力をお願い

茅野市長 柳平 千代一

日頃から、市政にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

茅野市では、子ども達が「たくましく、やさしい、夢のある子ども」に育てたいと願い、子どもが生まれる前から18歳になるまでを一貫して子どもとその家族の子育て・子育てを応援するため「こども・家庭応援計画」（愛称：どんぐりプラン）を策定し、市民団体「どんぐりネットワーク茅野」との協働により各種施策を実施しています。

このアンケートは、市民の皆様へ、子育てに対するお考えをお尋ねし、現在策定中の次期どんぐりプランに反映させることを目的としています。

また、このアンケートは、市内にお住いの方から無作為に選んだ1,500人の方をお願いしています。無記名でお答えいただき、結果は統計的に処理いたしますので、皆様にご迷惑をおかけすることはありません。アンケートの趣旨にご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

～ご記入にあたってのお願い～

- ① 回答は、宛名のご本人様がお答えください。
- ② 回答は、このアンケート用紙に直接ご記入ください。
- ③ 設問によって、該当するものに○を1つ付けていただくものと、複数付けていただくものがありますので、ご注意ください。また、「その他」の具体的な内容をご記入いただく場合があります。「その他（ ）」とある場合は、お手数ですが（ ）内にその内容をご記入ください。
- ④ ご記入が終わりましたら、この用紙をそのまま返信用封筒（切手不要）に入れ、**7月12日（水曜日）**までにポストへ投かんしてください。

問合せ先 茅野市役所 こども部 こども課 こども係
〒391-8501 茅野市塚原二丁目6番1号
TEL 0266-72-2101（代表）内線612
FAX 0266-73-9843
Email kodomoka@city.chino.lg.jp

1 あなたご自身とその家族の状況について

問1 あなたの性別を教えてください。(○を1つ付けてください。)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢を教えてください。(○を1つ付けてください。)

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 20歳代 | 2. 30歳代 | 3. 40歳代 |
| 4. 50歳代 | 5. 60歳代 | 6. 70歳以上 |

問3 あなたの職業を教えてください。(○を1つ付けてください。)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 会社員・公務員・団体職員 | 2. 自営業・自由業 |
| 3. 会社等経営者 | 4. 家事専業 |
| 5. アルバイト・パートタイム | 6. 学生(予備校含む) |
| 7. その他() | 8. 無職 |

問4 お住いの地区を教えてください。(○を1つ付けてください。)

- | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 1. ちの地区 | 2. 宮川地区 | 3. 米沢地区 | 4. 豊平地区 | 5. 玉川地区 |
| 6. 泉野地区 | 7. 金沢地区 | 8. 湖東地区 | 9. 北山地区 | 10. 中大塩地区 |

問5 世帯構成を教えてください(○を1つ付けてください。)

- | | | |
|----------------|----------|------------------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ | 3. 二世帯同居(子どもと同居) |
| 4. 二世帯同居(親と同居) | 5. 三世帯同居 | 6. その他() |

問6 婚姻状況を教えてください(○を1つ付けてください。)

- | | | |
|-----------|-----------------|-------|
| 1. 結婚している | 2. 結婚したが離婚・死別した | 3. 未婚 |
|-----------|-----------------|-------|

問7 子育ての状況について教えてください。(○を1つ付けてください。)

- | |
|---------------------------|
| 1. 子育て中である |
| 2. 子育ては終了している |
| 3. 自分の子どもは終わったが、孫の面倒を見ている |
| 4. 将来、子育てを経験すると思う |
| 5. 子育ての予定はない |
| 6. その他() |

※問8～問10は、問7で1を選択した方におうかがいします。

問8 平成29年7月1日現在の子どもの年齢について教えてください。
(あてはまるものすべてに○を付け、それぞれの人数をご記入ください。)

- | | | |
|----------------|-----|---|
| 1. 0～3歳 | () | 人 |
| 2. 4～6歳(未就学) | () | 人 |
| 3. 7～12歳(小学生) | () | 人 |
| 4. 13～15歳(中学生) | () | 人 |
| 5. 16～18歳(高校生) | () | 人 |
| 6. 18歳以上 | () | 人 |

問9 子育てが楽しいと感じますか。(○を1つ付けてください。)

- | |
|-----------------------|
| 1. とても楽しい |
| 2. つらいこともあるが、楽しいことが多い |
| 3. 楽しいこともあるが、つらいことが多い |
| 4. とてもつらい |

問10 子育てについて、悩みや不安、負担に感じることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○を付けてください。)

- | |
|------------------------|
| 1. 子どもの病気や発育のこと |
| 2. 育児の方法がわからない |
| 3. 自分の自由な時間が持てない |
| 4. 子どもと過ごす時間や会話が少ない |
| 5. 子どもとどう接したらいいのかわからない |
| 6. 思わず手をあげてしまうことがある |
| 7. 配偶者が協力的でない |
| 8. 手伝ってくれる人がいない |
| 9. 職場の理解が得られない |
| 10. 地域や社会の理解・協力が得られない |
| 11. 相談相手がいない |
| 12. 経済的負担が重い |
| 13. その他 () |
| 14. 特にない |

2 子育て環境等について

※ここからは、すべての方におうかがいします。

問 11 子育てに対する考えに近いもの教えてください。(○を3つまで付けてください。)

1. 家族の絆を深める
2. 家庭が明るくなり、やすらぎが得られる
3. 生きがいになる
4. 子育てにより、自分自身も成長できる
5. 家の跡継ぎができる
6. 社会的に認められる
7. 子育てを通じて交流が広がる
8. 老後の扶養や介護を頼ることができる
9. 次の社会を担う世代を育む
10. 家事や育児の負担が増える
11. 束縛され自由が利かなくなる
12. 金銭的に余裕がなくなる
13. その他 ()

問 12 近年、少子化が進んでいますが、出生率の低下についてどう思うか、教えてください。(○を1つ付けてください。)

1. 大変深刻な問題だと思う
2. どちらかという深刻な問題だと思う
3. 望ましくはないが、心配するほどではない
4. 特に問題だと思わない
5. その他 ()

問 17 茅野市は、「たくましく、やさしい、夢のある子ども」に育つことを願い、こども・家庭応援計画（どんぐりプラン）を策定し、計画に基づいた各種取り組みを行っています。今後、どのような取り組みが重要だと思いますか、教えてください。（特に優先順の高いもの5つまでを付けてください。）

（多様な体験の機会の充実）

1. 子どもの居場所づくり（O123広場、CHUKOらんどチノチノ、地区こども館）への支援
2. 地域行事の開催と子どもの参加促進
3. 体験活動の場の提供
4. 子どもと大人とが対等な立場でまちづくりを進める場の提供と取組支援
5. スポーツを身近に楽しむ環境の整備
6. ことばと心の育ちを推進する、読書活動の充実
7. 縄文学習や調べ学習などの推進により、疑問をもち、それを解決するための知識や技術の習得と活用の推進

（きめ細かな相談支援）

8. 発達障害の早期発見と家庭への支援
9. 助けを必要としている家庭への支援（ひとり親家庭、経済的な問題を抱えた家庭、外国籍市民、医療的な支援を必要とする障害児とその家庭等）
10. 保健・医療・福祉・教育が一体となった、一生涯を通じた安心できる仕組みづくり
11. 要保護児童（児童虐待問題等）への対応
12. 不登校児童・生徒への支援
13. ニート・引きこもりにならないための支援

（総合的な支援の推進）

14. 子どもに関する全ての相談に応じることができる窓口の充実
15. 質の高い幼児期の教育・保育の充実と継続
16. インターネットの適正利用に関する子どもとその保護者に対する教育の推進
17. 性教育の充実
18. 家事・子育て等を市民相互が援助する有償支援システムの推進

（地域での子育てと親育ちの支援）

19. 保育料や医療費の減免等の少子化対策における子育て環境の充実
20. 幼稚園・保育園・小学校が連携した教育の推進
21. 小学校・中学校が連携した一貫教育の推進
22. 地域の大人が保育園・幼稚園・学校での活動に係わる連携の推進
23. 地区コミュニティセンターを中心とした、地域住民の交流の場としての施設運用
24. 企業における労働時間の短縮や育児休業などの制度により、社会全体で子育てを支える「しくみづくり」の推進
25. 子どもを地域のみんなで見守り育てる、そのような環境づくりの推進
26. 子育てに関する講座や一日保育士体験などの実施による親育ちを支える場の提供と親育ちへの支援

問 18 その他、子育て・教育についてのご意見・ご要望がありましたら、自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

以上で、質問は終わりです。最後までご協力いただきまして、ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて切手を貼らず、7月12日（水曜日）までにポストへ投かんをお願いします。